

ウォシュレット® Sシリーズ 施工説明書

「ウォシュレット」はTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

施工情報

●必ず同梱のベースプレートを使用してください。旧型のベースプレートでは、ウォシュレットの取り付けができません。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⊘ してはいけない「禁止」の内容です。

❗ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

⊘	浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)
⊘	指定する電源 (交流 100V) 以外では使用しない (火災の原因になります。)
⊘	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままでは使用しない (火災や感電の原因になります。)
⊘	水道水及び飲用可能な井戸水 (地下水) 以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
⊘	車輛・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、故障の原因になります。)
❗	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)
⚡	アース (D 種接地工事) を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

注意

⊘	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
⊘	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
❗	止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)
❗	施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
❗	給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)

取り付け前のご注意

- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
- 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒータが入るため故障の原因になります。
- 電源は交流 100V (50/60Hz)、定格消費電力はSB: 417W、SC: 411Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
- 電源コードの長さは約 1m です。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力範囲は 0.05MPa (流動圧) ~ 0.75MPa (静水圧) です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水温度は 0 ~ 35℃ です。この温度範囲でご使用ください。
- 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター
TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99 へご連絡ください。

給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約 1m です。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、③給水ホースの接続の④項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。

右給水の隅付タンクへ接続する場合

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、給水ホースの長さが足りませんので別売品の中継アダプタ TCA58 が必要となります。

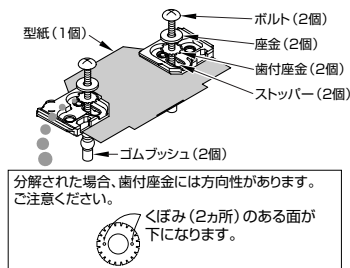
フラッシュバルブ(FV)へ接続する場合

- ①分岐口のある FV に接続する場合→別売品の専用アダプタ TH343R が必要となります。
- ②分岐口がない FV へ接続する場合→別売品の専用アダプタ TH484 (FV の給排水芯 120mm 用) または TH484-1 (低圧 FV 用) が必要となります。
- ③分岐口がある FV 止水栓へ交換する場合→別売品の TH347-1S (節水型) または TH502-1S (普通型) が必要となります。

同梱部品

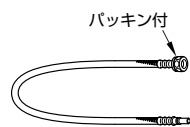
ベースプレート部品

※分解せずにこのままで便器に取り付けてください。



給水ホース

長さ: 約 1m



施工説明書 (本書)
取扱説明書 (保証書付)
通信販売カタログ

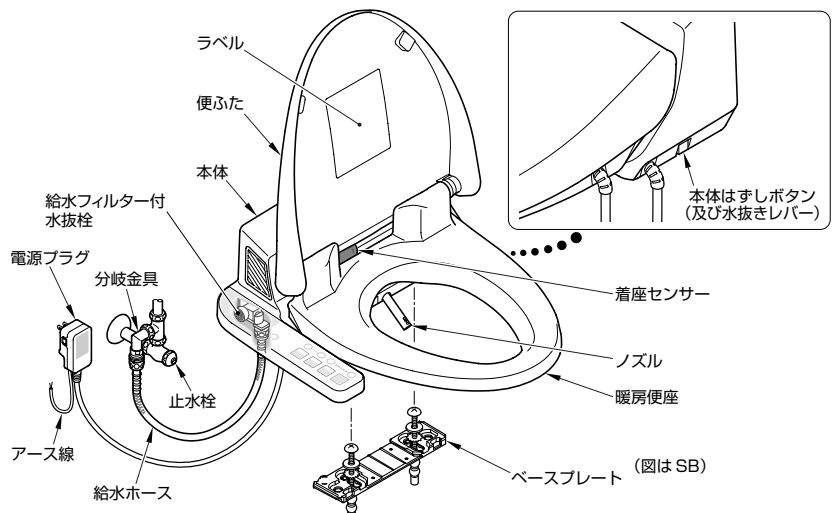


分岐金具

パッキン (2個)



各部のなまえ



取付方法

1 分岐金具の接続

一般のロータンクへ接続する場合

1 止水栓を閉め、給水管を取りはずす

②上下の袋ナットをゆるめる

③給水管を取りはずす

①止水栓を閉める

止水栓

給水管

袋ナット

※さびている古い給水管は、お取り替えをおすすめします。

2 分岐金具を止水栓に取り付ける

①袋ナットを止水栓に締め付ける

パッキン

止水栓

分岐金具

※給水カプラは下に向ける

4 給水管を取り付ける

①ロータンク（ボールタップ）側の袋ナットを締め付ける

袋ナット

②分岐金具側の袋ナットを締め付ける

袋ナット

ロータンク

注意

- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

3 給水管の止水栓側を切断する

給水管

パイプカッター

差込部分10~15mmを必ず確保する

10~15mm

●給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。

接続部にテーパリングを使用している場合

給水管

袋ナット

テーパリング

パッキンガイド

パッキン

差込代 約10~15mm

分岐金具

止水栓

接続部にテーパリングを使用していない場合

給水管

袋ナット

スリップワッシャー

ゴムパッキン

差込代 約10~15mm

分岐金具

止水栓

●部品の順番、向きを間違えないでください。

ワンピース便器へ接続する場合

1 止水栓を閉める

2 ふさぎふたとゴムパッキンを取りはずす

ゴムパッキン

ワンピース便器

ふさぎふた

止水栓

3 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとゴムパッキンを取り付ける

ふさぎふた

ゴムパッキン

止水栓

分岐金具

パッキン (付属品)

2 ベースプレートの取り付けかた

注意 ●すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットが取り付けできません。

1 ベースプレートをセットする

●ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。この型紙を用いて正しくセットしてください。

注意
ベースプレート部品を分解しないでください。

①型紙を組み立てる
※組み立てかたは型紙をご覧ください。

型紙

ベースプレート

ゴムブッシュ

便座取付穴

ボルト (座金付)

②ゴムブッシュを便座取付穴に差し込む (左右2カ所)
●ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

2 便器のサイズを調べる

約47cm → 大形サイズの便器

3-A

ボルト中心ベースプレート

この長さをメジャーで測定する

ボルトの中心から便器先端までの長さを測定する

約44cm → 普通サイズの便器

3-B

3 ベースプレートの位置を決める

3-A 大形サイズ便器の場合

ウォシュレットの背面に相当します。

ロータンク

※ここにすき間があいても問題ありません。

ベースプレート

型紙

①ボルト中心と型紙の大形サイズの位置をあわせる

ボルト

大形サイズ

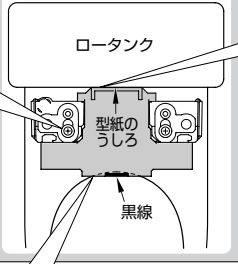
あわせる

黒線 (ノズル下部の位置に相当します。)

4

3-B 普通サイズ便器の場合

①ボルト中心と型紙の「普通サイズ」の位置をあわせる



② A、Bの条件を確認する

A: ロータンクと型紙のうしろにすき間があること

○: すき間あり (2mm以上が望ましい)

×: すき間なし (すき間がないとウォシュレットの取り付けができません。)

B: 型紙の黒線が便器ふちより前に出ているか、または一致していること

○: 前に出ている

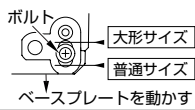
○: 一致している

×: 便器ふちより出ている

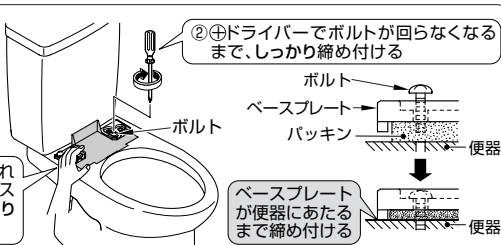
○: すき間あり (ノズル下部が便器に乗り上げた状態です。)

③ A、Bの条件が両方○の場合 ④へ

A、Bの条件が片方でも×の場合は右図のようにベースプレートを動かしてA、Bの条件が両方○になるようにしてください。



④ ベースプレートを固定する



①合わせた位置がずれないように、手でベースプレートをしっかり押さえる

②ドライバーでボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける

ボルト

ベースプレート

パッキン

便器

ベースプレートが便器にあたるまで締め付ける

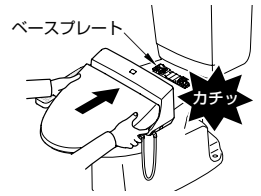
⑤ 型紙をはすす



③ ウォシュレットの取り付けかた

① ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

●本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



注意 正しく取り付けなかった場合は、本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

② 本体の取りはずしかた

●本体右側の本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を押したまま、本体を手前に引いてください。



※本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタつきが発生します。(これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるもので、異常ではありません。)

※普通サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。

※便ふたが倒れてくるときは、本体をはずして再度ベースプレートを少し前に取り付け直して便ふたが自立するように調整してください。

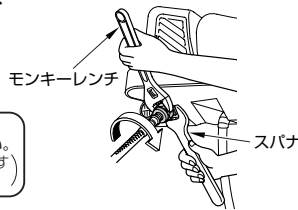
※大形サイズ便器に設置した場合でも、取付便器によっては便座先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときは、再度ベースプレートの位置を調整してください。

④ 給水ホースの接続

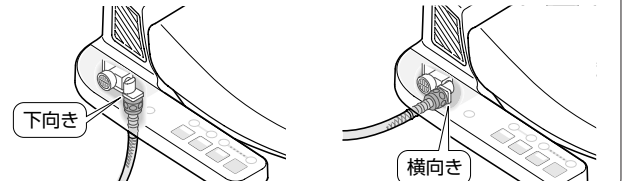
① ウォシュレット本体をベースプレートから取りはずす (③ ウォシュレットの取り付けかた 本体の取りはずしかた 参照)

② ウォシュレット本体の給水口に給水ホースの袋ナットを締め付ける

※この状態のまま製品を床に置かないでください。給水ホースが折れ、水漏れの原因になります。



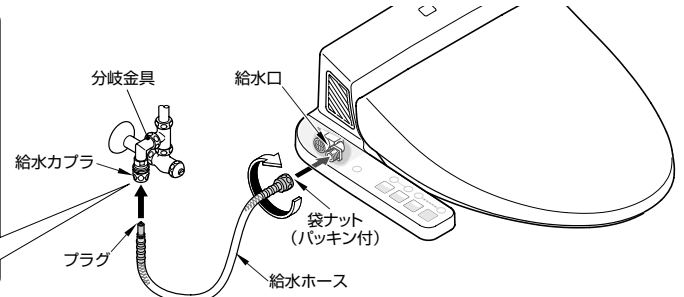
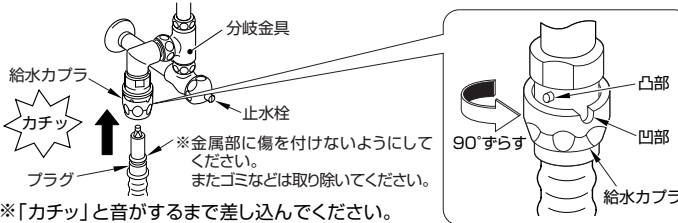
ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。ワンピース便器の場合は給水口を横向きにしてください。



注意

給水口をスパナで固定して給水ホースを接続してください。(無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。)

③ 給水ホースを分岐金具の給水カブラに差し込む (給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)



④ 給水ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは970mmです。)

お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター
TEL 0120-8282-55 FAX 0120-8272-99へご連絡ください。

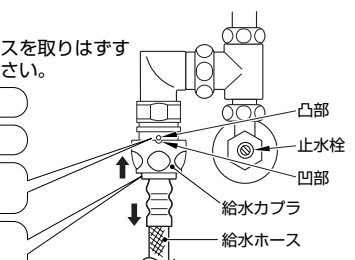
給水ホース長さ (mm)	品番
1180	D24009ZRRt5
1480	D24009ZRRt6
1980	D24009ZRRt7

※分岐金具の給水カブラは一時止水機能付ですが、給水ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

給水ホースのはずしかた

施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

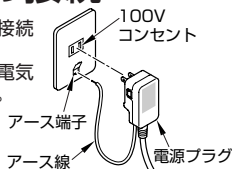
- ① 止水栓を閉める
- ② ロータンクの水を流す
- ③ 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる
- ④ 給水カブラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く



⑤ ウォシュレット本体をベースプレートに取り付ける (③ ウォシュレットの取り付けかた ①項参照)

5 アース線の接続

- アース線をアース端子に接続してください。
- ※アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。

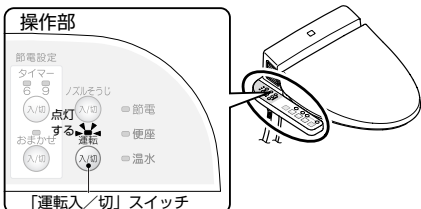


6 電源プラグの確認

- 電源プラグを100V (50/60Hz)のコンセントに差し込む
 - ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。
- 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する
 - 「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
 - 「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する以上のように作動すれば正常です。
 - 「切表示」ランプが点灯している状態では、通電されません。テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

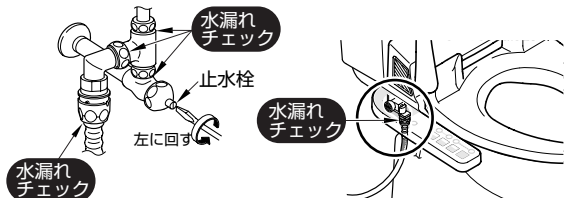
試運転

- 試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。(「入」のときは、「運転」ランプが点灯します。)
- 「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んででもウォシュレットは作動しません。お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。



1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



2 機能の確認

(便座を閉めないで着座センサーははたらきません。)

- 着座センサーを白紙でおおう
 - 白紙でおおうと着座センサーが検知します。
- 脱臭機能を確認する (SBのみ)
 - 本体左側面の吹出口より風が出ていますか?
- パワー脱臭機能を確認する (SBのみ)
 - パワー脱臭ボタンを押すと脱臭音が大きくなりますか?
 - もう一度パワー脱臭ボタンを押すと通常の音に戻りますか?
- 洗浄機能を確認する
 - 洗浄ボタンを押すとノズルから温水が出ますか? (温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)
- 洗浄機能を確認する (つづき)
 - 水勢調節ボタンを押すと水勢が変化しますか?
 - 停止ボタンを押すと止まりますか?
- 乾燥機能を確認する (SCのみ)
 - 乾燥ボタンを押すと温風が出ますか?
 - 停止ボタンを押すと止まりますか?
- 暖房便座機能を確認する
 - 便座があたたまるまで約15分かかります。
- 着座センサーを白紙で30秒以上おおった後、白紙をははずす
- オートパワー脱臭機能を確認する (SBのみ)
 - 脱臭音が大きくなりますか?
 - 約1分後に自動で止まりますか?

給水フィルターの掃除

- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。(フィルターにゴミが詰まると、おしり・ヒデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

- 止水栓を開けて給水を止める
 - 止水栓ボタンを押し、ノズルを伸ばさせた後、もう一度止水栓ボタンを押してください。(給水管内の圧抜きです。)
- 給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす
 - 給水フィルター付水抜栓を左に回す
- フィルターを水洗いして小さなゴミを取る
 - ※本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。
- 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締める
 - 給水フィルター付水抜栓を右に回す
- 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する

凍結のおそれがあるときの処置

- お客様に引き渡すまでに凍結のおそれがあるときは、電源プラグは差し込んだままにしてください。漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。

- 止水栓を開けて給水を止める
 - ロータंकの水を流してください。水が流れ出してしまうまでレバーを回したままにしてください。
- 配管の水を抜く
 - 操作部の水抜きボタンを押す (配管内の残水を抜く準備です。)
 - 給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってははずす
 - 給水フィルター付水抜栓を左に回す
 - 給水ホースを持ち上げてホース内の水を抜く (約30ml)
 - 給水ホース
 - もう一度水抜きボタンを押す (ノズルを元に戻します。)
- 本体を取りはずす
 - ベースプレート
 - 本体はずしボタン (及び水抜きレバー)
 - 取りはずした本体は、便器上面の前側に置いてください。
- 本体はずしボタン (及び水抜きレバー) を引いて本体内の水を抜く
 - 本体ははずさないで水抜きレバーは引けません。
 - 本体下側から水 (約1.2L) が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。
- 本体はずしボタン (及び水抜きレバー) を戻し、本体を取り付ける
- 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締める (給水フィルターの掃除 4項参照)
- 本体を取り付ける

工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。(但し凍結が予想される場合は、電源プラグを抜かないでください。)